

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-08-15

APM news 109

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

秋山孝ポスター美術館長岡 7月12日(土) pm3:00~3:30/参列者:130名

開館5周年記念式典



2009年7月11日、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は開館した。それから5年、2014年7月12日にAPMは5周年を記念し、式典を執り行う運びとなった。前日までの雨が嘘のように晴れ渡り、5年前の開館と同様、青空の下での式典となった。長岡造形大学理事長でありAPM運営委員会会長の豊口協様、長岡商工会議所副会頭・北村敏雄様、北越銀行常務取締役・佐藤勝弥様、APMサポーターズ倶楽部法人賛助会員の北越紀州製紙株式会社 長岡工場長・谷口喜三様様からご祝辞をいただき、当館館長・秋山孝から謝辞が返された。

皆様からいただいたご祝辞の中で、APMの建物がかつて北越銀行宮内支店だったという話が度々出てくる。1925年に建てられてから現在まで、地域の皆様に慕われて残ってきた建物である。このAPMと対をなすような建物が宮内駅に隣接して建てられ、5周年のこの日、正式なお披露目となった。それが「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」である。蔵には秋山館長の受験生時代、大学生時代の習作を展示した。学生時代の作品を展示することに多少の照れもあるが、5周年のために手伝ってくれた学生の皆様に対する激励と感謝の気持ちから展示に至ったと秋山館長は述べた。

この5年間、APMは会員の皆様、地域の皆様、学生の皆様に支えられ、多くの活動を行ってこることができた。5年という節目の年ではあるが、開館記念事業を行うには10周年が一般的である。それでも秋山館長は5年で一度区切り、今まで行ってきたことを振り返ることでようやく次の5年、10周年が見えてくるのだと考え、今回の5周年記念イベントを行うこととなった。APMは社会に貢献するため「1.アーカイブ、2.研究、3.教育」の三つを目的として、企画展、美術館大学、課外授業、ワークショップといった活動を行ってきた。これらの活動を継続しながら、次の10周年に向けての更なるステップとして、長岡にポスターという新しい文化を根付かせること、そのために長岡で「国際ポスタービエンナーレ」を開催したいと秋山館長は述べた。第1回目は世界10カ国の著名なポスター作家から作品を募り、APMや、協力してくれる長岡市内の施設に展示したいと考えている。そしてビエンナーレの枠組みができれば、次は若者の参加を募り、更には世界中の人々がこのビエンナーレのために長岡へ集まってくる活動を目指していると述べた。

目標が高すぎると感じる方もいるかもしれない。だが実際には低い階段を一段一段上っていくような日々の努力の果てにしか、目標の実現はない。それが時間のかかるものだとしたら、次の世代、またその次の世代が引き継いでいく。そういった若い力が長岡に集まってほしいと秋山館長は結んだ。式典の最後には、多摩美術大学イラストレーションスタディーズの皆様から、APM5周年記念ポスターと花束の贈呈が行われた。多くの人々が集い、祝福して下さったこの式典が、今後のAPMを象徴するものであることを願う。(APM公式ホームページより抜粋)